

法人名 (財)山梨県甲府・国中地域地場産業振興センター

【法人の概要】

代表者名	宮島雅展		所管部(局)課	観光部観光振興課		
所在地	甲府市東光寺3-13-25		電話番号	055-237-1641		
ホームページURL	http://www.kaiterasu.jp		E-mailアドレス	yjiba_wa@xpost.plala.or.jp		
資本金(基本財産)	30,000	千円	設立年月日	昭和59年1月10日		
主な出資者	出資順位	出資者名		出資額		出資比率
	1	甲府市		10,039	千円	33.5 %
	2	山梨県		10,000	千円	33.3 %
	3	(協)山梨県ジュエリー協会		700	千円	2.3 %
	4	山梨県宝石研磨工業協同組合		700	千円	2.3 %
	5	山梨県宝石研磨工業協同組合		700	千円	2.3 %
	6	北杜市		508	千円	1.7 %
	7	甲府商工会議所		500	千円	1.7 %
	8	(社)山梨県機械電子工業会		500	千円	1.7 %
	9	山梨県家具工業協同組合		500	千円	1.7 %
	10	山梨県ニット工業組合		500	千円	1.7 %
	その他	20団体(者)		5,353	千円	17.8 %
設立経緯概況等	地場産業に関する新製品、新技術、デザインの開発や地場産業の普及促進を積極的に推進することを目的とし、ワイン、水晶、印伝など21業種にもおよぶ地場産業製品の展示施設として、昭和60年9月に開館した。					

【主要事業の概要】

主な事業名	内容	事業費(単位:千円)		
		H17年度	H18年度	H19年度
事業1 地場産業まつりの開催(2回)	H17年度 秋まつり 春(国補) H18年度 秋(国補) 春まつり H19年度 夏まつり 春まつり	11,169	12,070	8,087
事業2 自主企画展の開催	新商品の紹介及び伝統の技を紹介し製品の普及及び地場産業の振興を図っている。	850	798	498
事業3 シャンデリアワインコンサートの開催	豪華なシャンデリアの下で、地元出身の音楽家の音色を聞きながら、山梨のワインの味を堪能している。	400	350	299

【組織】

	年度	平成18年度				平成19年度					平成20年度								
		職 員	プロ パー 兼 務	派 遣 員	県 職 員 兼 務	県 職 員 兼 務	県 職 員 兼 務	県 職 員 兼 務	県 職 員 兼 務	県 職 員 兼 務	県 職 員 兼 務	県 職 員 兼 務	県 職 員 兼 務	県 職 員 兼 務	県 職 員 兼 務				
4月1日現在の人員																			
役員	理事(常勤)	2			1	1	2			1	1	2			1	1			
	理事(非常勤)	19		1		18	19		1	18	19		1		18				
	監事(常勤)	0					0				0								
	監事(非常勤)	2		1		1	2		1	1	2		1		1				
	評議員	22		2		20	22		2	20	21		2		19				
	計	45	0	4	1	40	45	0	4	1	40	44	0	4	1	39			
職員	管理職	1		1			1		1		1		1						
	一般職員	3	1			2	2	1		1	2	1			1				
	臨時職員	4				4	3			3	2				2				
	非常勤職員	2				2	2			2	2				2				
	計	10	1	1	0	8	8	1	1	0	6	7	1	1	0	5			
プロパー職員の年齢構成(H21.4.1現在)	年齢	~20	21~30	31~40	41~50	51~60	61歳以上	合計					平均年齢	平均年収					
	男性							0				役員		(千円)					
	女性					1		1				常勤	62.5	3,634					
	合計	0	0	0	0	1	0	1				職員	※	(千円)					

※常勤職員は、1名であり、個人情報保護の観点から非公開

【経営の状況】

(単位:千円)

項 目		17年度	18年度	19年度	増減(19-18)
正味財産の状況	基本財産運用益	420	420	420	0
	受取会費				0
	受取寄付金				0
	受託事業収益				0
	自主事業収益	65,930	66,466	68,707	2,241
	受取補助金等	36,001	44,637	40,005	△ 4,632
	雑収益	7,578	6,477	5,423	△ 1,054
	経常収入 計	109,929	118,000	114,555	△ 3,445
	事業費	9,901	9,992	5,520	△ 4,472
	うち人件費	0	0	0	
	管理費	106,378	111,861	114,947	3,086
	うち人件費	45,368	51,436	51,343	
	経常支出 計	116,279	121,853	120,467	
	当期経常増減額	△ 6,350	△ 3,853	△ 5,912	△ 2,059
	経常外収入	1,574	1,361	1,455	94
	経常外支出	710	659	609	△ 50
	当期経常外増減額	864	702	846	144
	当期正味財産増減額	△ 5,486	△ 3,151	△ 5,066	△ 1,915
正味財産期首残高	1,416,500	1,411,014	1,407,863		
正味財産期末残高	1,411,014	1,407,863	1,402,797	△ 5,066	

(単位:千円)

項 目		17年度	18年度	19年度	増減(19-18)
財務状況	流動資産	64,315	68,735	74,965	6,230
	固定資産	1,502,454	1,479,688	1,457,540	△ 22,148
	資産 計	1,566,769	1,548,423	1,532,505	△ 15,918
	流動負債	8,346	8,452	12,626	4,174
	うち短期借入金				0
	固定負債	147,409	132,108	113,747	△ 18,361
	うち長期借入金	142,418	127,116	108,481	△ 18,635
	負債 計	155,755	140,560	126,373	△ 14,187
	正味財産	1,411,014	1,407,863	1,406,132	△ 1,731
	うち基本財産への充当額	30,000	30,000	30,000	
うち特定資産への充当額	0	0	0		

(単位:千円)

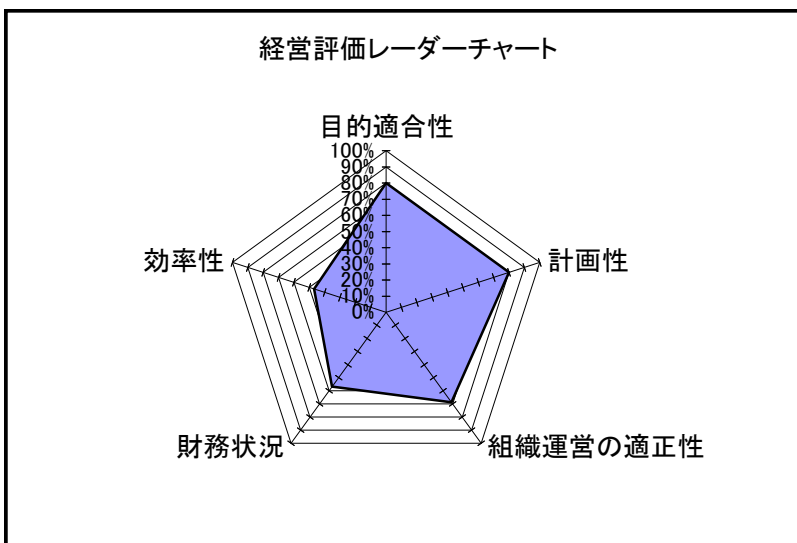
項 目		17年度	18年度	19年度	増減(19-18)
県の財政的関与の状況	負担金				0
	人件費(派遣法)補助金	9,137	9,361	8,127	△ 1,234
	人件費(派遣法以外)補助金	5,712	5,334	5,329	△ 5
	人件費以外の補助金				0
	運営費補助金	14,849	14,695	13,456	△ 1,239
	事業費補助金	5,291	5,689	3,189	△ 2,500
	補助金 計	20,140	20,384	16,645	△ 3,739
	人件費(派遣法)委託金				0
	人件費(派遣法以外)委託金				0
	人件費以外の委託金				0
	委託金 計	0	0	0	0
	県支出金 計	20,140	20,384	16,645	△ 3,739
	県の財政的関与の割合(%)	18.3	17.3	14.5	△ 3
県貸付金残高	95,751	83,783	71,815	△ 11,968	
県債務負担実際残高				0	

【県の財政的関与の内容・目的】

項目	内容・目的
補助金(運営費)	県OB、派遣職員に対する地場産業振興センターの振興費(運営費)補助金
補助金(事業費)	地場産業振興センタースプリンクラー設備設置費高度化資金の償還補助金
委託金	
債務負担行為	

【自己評価・評点集計】:(経営評価算出表により、法人自らが評価した結果を記入)

評価の視点	評価ポイント	評価項目数	満点	評点	得点率
目的適合性	出資法人が当初の設立目的あるいは公益目的と適合した業務を行っているかを問う視点	5	20	16	80.0%
計画性	出資法人が長期的ビジョンを持って計画的に事業運営に取り組んでいるかを問う視点	5	20	16	80.0%
組織運営の適正性	組織・人事・財務等の内部管理体制が適切に整備、運用され、かつ情報公開による透明性の確保が適切であるかを問う視点	4	16	11	68.8%
財務状況	出資法人の経営の安全性や収益性を問う視点	11	44	25	56.8%
効率性	出資法人の組織の管理運営上における人的・物的な経営資源が有効活用されているかを問う視点	8	32	15	46.9%
合計		33	132	83	62.9%



【警戒指標】

【出資法人の自己評価】:(各評価の視点毎に、法人自らによる分析・検証の結果及び対応策を記入)

目的適合性	設立目的の中には人材、スペース等の関係で実行出来ない事業がある。
計画性	入館者増に向けて努力している。 地場産業まつり等入館者は順調に伸びている。
組織運営の適正性	プロパー職員雇用は公益法人改革を前に苦慮している。
財務状況	単年度決算は黒字だが、自己資本率は90パーセント台で緩やかに上昇している。
効率性	有効に活用している。さらに貸室利用率向上等に向け努力している。
総合的評価	収入増に向け更に努力と工夫を惜しまず実行していく必要がある。公益目的事業の実行も課題である。



対応策	有効かつ的確な広告宣伝と看板、交通案内板等の誘客面の充実を図る。
-----	----------------------------------

【法人担当部局の所見】:(法人所管部局による各評価の視点毎の分析、評価)

目的適合性	秋、春の地場産業まつりの開催やジュエリーデザインコンテスト入賞作品の企画展示、シャンデリアワインコンサートの実施など、地場産業支援のための事業を積極的に実施している。
計画性	計画に沿った運営が行われており、入館者の増加に繋げるための新たな事業展開も検討している。
組織運営の適正性	適正に組織運営が行われている。プロパーの正規職員が1名で、50代半ばであるため、適正な職員厚生の確保のため、その採用を検討する時期にある。
財務状況	自主事業収入は、少しずつではあるが増加傾向にある。県の財政的関与を比較的低い割合に抑えることができている。
効率性	貸室の利用率は高い水準を維持している。入館者数も前年度より若干増加しているが、引き続き効果的な地場産業の支援策を検討しながら進めていく必要がある。
総合的評価	大きな地場産業の紹介イベントを年2回開催しているほか、年間を通して様々な自主企画展を実施し、地場産品のPRに努力している。また、英語・中国語・韓国語表記の施設紹介パンフレット、施設周辺の観光案内マップの作成や定期路線バスの立ち寄り確保など、施設への集客とサービス向上にも努めている。

【総合評価】:(経営評価委員会、経営評価アドバイザーによる総合評価)

今後更なる改善、見直しを行うべき視点	
総合的所見	
※ ランク下の%は得点率の範囲	<p>・3期連続して当期正味財産増減額で赤字を計上しているため、財務状況の評価が低くなっている。固定資産の減価償却が大きな要因ではあるが、同じく評価の低い効率性の改善と併せ、徹底した管理経費の削減など、一層の経営努力が求められる。</p> <p>・周辺観光マップの活用やイベントの開催による集客力向上のため、魅力アップに向けた不断の取り組みを行うとともに、業務の外部委託等経費削減の手法について調査研究を行う必要がある。</p> <p>・また、公益法人制度改革を踏まえて、今後の法人の在り方について、検討する必要がある。</p>



【総合所見等に対する今後の対応方針】

<ul style="list-style-type: none"> ・平成20年度より、企画・運営部会を立ち上げ、業務内容の検討や効率性の改善と合わせて、公益法人制度改革に向けた対応の検討を開始し、引き続き検討を行っていく。 ・経営管理経費の削減については、平成21年度に照明をLEDへ変更する改修工事を実施し、電気量料の削減を図るとともに、自動販売機の手数料の見直しによる収入の増加に努める。 ・大ホール施設利用収入の増加に向け、ダイレクトメールによる新規利用企業等の獲得に努める。
--